

【案件概要】

カバロレ県カヒンジュ中高等学校における女子寮建設計画

1. 計画の概要

被供与団体	ウガンダ教会ルウェンゾリ教区
供与額	93,469米ドル
署名者	キセンボ・ルーベン（司教）
計画名	カバロレ県カヒンジュ中高等学校における女子寮建設計画
実施地	カバロレ県フォート・ポータル市（ウガンダ西部）
供与内容	女子寮1棟（402㎡：2室，各100人収容），トイレ・水浴室棟2棟（各30㎡：各8室，トイレ4室，水浴室4室），ソーラー発電システム，フェンス，家具
贈与契約署名日	2016年1月25日

カヒンジュ中高等学校は、ウガンダ教会ルウェンゾリ教区により1983年に設立された学校で、現在教員45人、女子生徒541人、男子生徒615人が在籍しています。同校では、生徒の27%が往復3km以上の距離を徒歩で通学しており、女子生徒は通学中に男性から嫌がらせを受けることが少なくありません。さらに、そういった生徒の多くは、朝は夜明け前に自宅を出発し、夕方は暗くなる時間帯に帰宅するため、野生動物に襲われたり、不審者の暴力・性的被害に遭うケースもあります。このような長距離通学による疲労も学業不振の原因となっており、中退する女子生徒が毎年30人前後発生しており、全生徒数の増加に比して更に増える傾向を示しています。本計画では、カヒンジュ中高等学校の女子生徒200人の、人間の安全保障上の脅威が低減され、生活・学習環境が大幅に改善されます。

2. 贈与契約署名式

2016年1月25日、在ウガンダ日本国大使館において、藤田順三大使とキセンボ・ルーベン司教の間で贈与契約が署名されました。

プレスリリース(英語)

写真